

白線とあなた

～公共空間における視覚秩序の理解と実践～

発行：清潔省 公共清潔局 市民清潔啓発課

はじめに

白線は、ただの線ではありません。

それは、あなたと社会をつなぐ“秩序のしるし”です。

本冊子では、公共空間における白線の役割と、市民の皆さまに求められる行動について、わかりやすくご案内いたします。

第1章：白線とは何か？

白線は、公共空間における視覚的秩序の基準線です。

駅のホーム、歩道、公共施設の床面などにおいて、白線は「ここまで」「ここから」を静かに伝えています。

白線を正しく認識し、尊重することは、清潔で安全な社会への第一歩です。

第2章：白線を踏むという行為の意味

白線を踏むことは、単なる偶然ではありません。

それは、無意識下における秩序への挑戦であり、時に“視覚的緊張”を周囲に与える行為とみなされます。

公共清潔局の調査によれば、白線を頻繁に踏む市民は、CIP (Cleanliness Performance Index) が平均より 12.4% 低下する傾向にあります。

第3章：あなたの白線マナー、見られています

白線上での立ち止まり、荷物の放置、あるいは白線上での会話などは、視覚秩序の乱れとして記録される場合があります。

市民の皆さまには、以下の点にご留意ください：

白線は踏まない

白線の上で立ち止まらない

白線に物を置かない

白線を見つけたら、心の中で一礼する（推奨）

第4章：白線とあなたの未来

2025年度より、白線の維持はAWML（自動白線維持システム）により管理されます。しかし、白線を尊重する心は、依然として市民一人ひとりの意識に委ねられています。

あなたの一歩が、社会の清潔をつくれます。

白線を守ることは、あなた自身を守ることでもあるのです。

第5章：よくある誤解「白線はただの線では？」

一部の市民の間では、「白線はただのペンキで描かれた線にすぎない」との誤解が見られます。これは極めて危険な認識です。

白線は、視覚秩序のインフラであり、公共空間における無意識的行動制御装置として設計されています。

白線の存在により、私たちは自然と列をなし、距離を保ち、秩序を維持しています。それは、見えないルールを可視化する国家的装置なのです。

第6章：白線を守るためにできる10のこと

1. 白線を踏まない
2. 白線の上に物を置かない
3. 白線の上で立ち止まらない
4. 白線の上で会話しない
5. 白線の汚れに気づいたら、清潔省に報告する
6. 白線の写真を撮ってSNSに投稿しない（視覚秩序の乱用防止）
7. 白線の上でジャンプしない（振動による劣化防止）
8. 白線の端を指でなぞらない（摩耗の原因）
9. 白線を見つけたら、心の中で一礼する（推奨）
10. 白線を“ただの線”と呼ばない

第7章：白線違反通報制度について

清潔省では、白線に対する不適切な行動を発見した市民の皆さまからの通報を受け付けています。通報は匿名で行うことができ、通報者のCIPは最大で+1.5ポイント加算されます。

通報対象となる行為（例）：

白線を意図的に踏み続ける

白線の上で飲食を行う

白線を“アート”として再解釈する

白線に対して不敬な発言を行う（例：「この線、意味あるの？」）

通報方法：

きれいログアプリ内「白線違反通報」メニューから

清潔省公式サイトでの通報フォームから

駅構内の「視覚秩序通報ポスト」へ投函

おわりに

白線は、あなたを見えています。

そして、あなたもまた、白線を見つめています。

白線を踏まないあなたは、美しい

白線とあなた～公共空間における視覚秩序の理解と実践～

発行：清潔省 公共清潔局 市民清潔啓発課